日本航空 0B 乗員 有志の会ニュース

2011. 11. 11

No.11-046

HP: http://jalfltcrewob.web.fc2.com/ Mail: jalfltcrewob1@gmail.com

安全で明るい JAL

稲盛会長は2月8日、日本記者クラブで「(解雇した) 160人を残すことが経営上不可能かというと、そうではない」と発言し、更に9月30日の裁判で「経営上」を「経理上」と修正しつつもその発言を認めています。

そして11月8日に日本航空 2011年4~9月期連結決算 が発表されました。

早くも今年度の営業利益目標(757億円)

を超える 1061 億円

通期の営業利益予想を上方修正(1400億円)

J-CASTニュース 2011/11/ 8 19:22

JAL好調、半期連結決算、営業利益が年間目標超え

日本航空(JAL) は 2011 年 11 月 8 日、12 年 3 月期第 2 四半期(11 年 4 月~9 月)の連結業績を発表した。売上高は 5998 億円、営業利益は 1061 億円だった。更生計画では、12 年 3 月期(11 年 4 月~12 年 3 月)に 757 億円の営業利益を計上することを「必達目標」と位

置づけており、早くもこれを達成した形だ。不採算路線からの撤退や機材の小型化といったコスト削減策が奏功した上、東日本大震災後、ビジネス客や日本から海外に向かう観光客の数が予想を上回るペースで戻りを見せ、業績を押し上げた。

これを受け、12年3月期の売上高予想を1兆1500億円、営業利益が1400億円、純利益が1200億円になる 見通しだと発表した。



稲盛会長、LCCには消極姿勢貫く

大西賢社長は、業績の位置づけについて「足元を見直した結果、ようやく年間の見通しを

持てるようになった」と述べた上で、再上場の時期については、「内部統制など、事務的な準備を進めている。できるだけ早く上場していくのがよいと思っている。12 年度中に 上場を果たしたい」これまでの「12 年度中」を繰り返した。

また、稲盛和夫会長は、豪ジェットスターと三菱商事との合弁で格安航空(LCC)事業に参入したことについて、「低料金でお客様を乗せるLCC事業は厳しいと思っていた。だが、LCCの勉強もしないといけない。ジェットスターからお誘いがあったので、主導権を持つのではなくて、勉強を兼ねて参入を決めた」と、従来の消極姿勢を崩さなかった。

日経Web 2011/11/8 21:48

日航の12年3月期、営業益1400億円に上方修正

日本航空が8日発表した 2011 年4~9月期連結決算は、営業利益が前年同期比4%減の 1061 億円だった。東日本大震災で需要が落ち込み路線絞り込みなど合理化で補えなかった。コスト削減をテコに12年3月期通期の営業利益予想を1400億円と従来予想の2倍弱に上方修正した。

4~9月期の売上高は前年同期比 22%減の 5998 億円。好採算の路線への絞り込みなどで座席供給量を国際線で 28%、国内線で 23%それぞれ減らしたためで、大震災の影響も受けた。機材見直しや人員削減の効果のほか、減価償却費の減少も寄与した。

タイ洪水の影響については、2カ月間で十数億円の減収要因になる見通し。関西国際空港—バンコク線を間引いて運航しているが、今後も「需要をみながら対応していく」(大西賢社長)。

稲盛和夫会長は「全社員が一丸となって再建を果たすという意志が強くなっている」と 強調。自らの去就について「(10年2月の就任時に)3年の予定で就任した。健康の許す 限り約束した期間、続けたい」と語った。

毎日新聞 11 月 8 日(火) 20 時 30 分配信

<日本航空>12年3月期決算予想 営業利益1400億円に

日本航空は8日、12年3月期連結決算の業績予想を初めて公表した。東日本大震災の影響で売上高は伸び悩むものの、昨年1月の更生手続き入り後に行った大胆なリストラの成果で、営業利益は更生計画の目標値(757億円)の2倍近い1400億円を確保すると予想。来年9月にも見込まれる再上場に向けて、最大のハードルをクリアする見通しとなった。

売上高は東日本大震災や原発事故による4~5月の大幅な旅客減が響き、1兆150 0億円と、更生計画の目標値(1兆2229億円)は下回る。

経営規模では11年3月期の旅客数に続き、12年3月期には年間の売上高でも全日 本空輸が日航を抜いて首位に立つが、営業利益は逆に、経営効率を大幅に高めた日航が 全日空の2倍を確保することになる。

また、日航が同日発表した11年9月中間連結決算は、売上高が5998億円で、営 業利益は1061億円を確保した。会見した大西賢社長は「震災の影響は受けたが、国内 線と日本発の国際線で想定した以上にお客さんの戻りが早かった」と指摘。再上場の時期 については明言を避けたが、「できるだけ早いタイミングで行いたい」と意欲を示した。

11月9日 朝日新聞

改善につなげた。

を増やすなどして、

見通し。 期連結決算の営業損益は、 1400億円の黒字になる 早くも上回った。12年3月 て単純比較はできないが、 通期の目標の757億円を 1年9月中間連結決算で営 柔利益は1061億円で、 8日発表した201

3万人に。今期は旅客が少

業員は約4万8千人

人から

度と比べると、グル

1

プ従

会社更生法適用前6

09 年

ない路線は機材を小型化

旅客が多い路線は便数

輧 B

績を2割程度下回った。 東日本大震災で旅客数が減 にとどまった。 益だった前年を3%下回る り、5998億円と前年実 ただ営業利益は過去最

績をあげている。

人員削減

など大胆なリストラが功を